

## 管理事務所からのお知らせ

今年の1月は、強い寒気の影響で気温の低い日が多く、東京都心でも48年ぶりの氷点下となり、水道管の凍結による被害がありました。白笹でも若干の被害が見られ降雪量も多めでした。

2月の中旬に20cm位の雪が積もりましたが、その後は気温の高い日もあり、3月に入ると春を思わせる様な暖かい日もあり、雪解けも進んでいます。早く春らしくなってほしいものです。

### ※入荘前にご連絡を

冬期間の積雪や強風により別荘の細部や、アンテナ等に不具合が出ている場合があります。入荘の際は給排水管等とあわせて点検を実施してください。夜間の修理対応はできませんので、日中に入荘されてチェックされることをお勧めいたします。

水抜きにつきましては、極端に冷え込む日がありますので、4月20日頃までは実施してください。

### ※火気にご注意を

雪解けからゴールデンウィーク頃までは、強風が吹き空気が乾燥しますので、薪ストーブ等火の取り扱いには十分ご注意ください。

冬期間の  
別荘ご利用  
について



## 白笹何でも Q & A



**Q** 昨年の秋から別荘を使用していません。ゴールデンウィーク前に行きたいと思っておりますが、水を出す際にどんな事に注意したら良いですか？

**A** 冬の間、配管の水を抜いてありましたので、ゴムパッキンを使用している部分からほんの僅か水漏れをしている場合があります。洗面化粧台下の給水・給湯のフレキシブルパイプ付近、トイレの給水管・排水管等注意して下さい。水出し後に手で触れてみるとわかります。漏れがある場合は、速やかに管理事務所にご連絡ください。そのままにしておきますと、床の傷みやカビの原因になりますので注意しましょう。

※水出し後、給湯器で異音がしたり、着火しても給湯蛇口からお湯が出ない場合は、水抜きバルブが開いている場合がありますので、必ず確認してください。

### 編集室より

いやあ〜、今回の冬の寒さは強烈でした。那須に戻ってきて2回目となった今回の冬、「まあ前回ぐらいの寒さなら楽勝だな」と高をくくっていたら、そうは問屋がなんとやら、今回は序盤から圧倒的な寒波に見舞われました。さすがに後半は力尽きて寒さが緩むだろうと期待していたのに、結局3月まで極寒の日々が情け容赦なく続きました。

洗濯機の排水管が凍って詰まり、脱衣所が床じゅう泡だらけになってしまったり。夜帰宅して冷蔵庫を開けたら、冷蔵庫のなかのほうがか部屋よりもかえって暖かく感じられたり…。

でも、そんな厳冬のあとだからこそ、春到来の嬉しさはひとしおです。心地よい日差しの中、鳥のさえずりを耳にしながら木々のこずえが芽吹くのを愛でていると、思わずにんまりとしてしまいます。

5月には、昨年行きそびれた学校平(矢板市八ヶヶ原)のツツジを絶対に見に行こう。黒羽のアジサイも見逃すわけにはいかない。そうそう、Nさんが教えてくれた那須高校(那須町黒田原)の近くにあるというハスの群生地。7月には真っ赤な大輪の花が咲き競いあって、それは見事だとのこと。ぜひ、この目で確かめてみなければ。

これからの季節、オーナーの皆様にはどのようなお出かけプランがあたりでしょうか。白笹周辺で出会った風景や花、鳥、動物のことなど、ぜひ本誌編集室までお知らせください。



編集発行  
黒磯観光開発株式会社  
本社・現地管理事務所  
〒325-0111 栃木県那須塩原市  
板室字白湯山1173-31  
☎ 0287 (69)0331(代)

30.4.1.1200

# 白笹だより

No.148

2018.4



人形作家 埼玉県在住 渡辺千枝子さんの作品

## 白笹掲示板

### ● 工事に対するご協力依頼について

冬期間の除雪等により、道路・側溝等の傷んだ箇所の補修工事や、水道・温泉の補修工事の際は車両の通行に支障の出る場合があります。

ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願い致します。



### ● 平成30年度管理事務所営業管理体制について

〔営業時間〕 8:30~17:30  
(年中無休)

〔宿直体制〕 (緊急時対応)

金・土と祝祭日前日、  
ゴールデンウィーク、  
お盆の期間、年末年始

〔問合せ先〕

電話0287-69-0331

※宿直日以外の夜間緊急時は転送電話にて当社社員が対応します。

## エンジョイしています。別荘ライフ

今回は、東京都武蔵野市在住の長沼様に登場していただきました。

白笹別荘地にお世話になり25年になります。那須の自然、地元の方の人柄などに魅了され、連休ともなれば必ず訪れるようになりました。ここ白笹は、とてもアクセスが良いので別荘を拠点に福島や新潟方面などへも足を延ばすこともあります。

別荘での1番の楽しみは何といってもゆっくり温泉に入れること。疲れが吹き飛んでしまいます。それとテラスでのバーベキュー！那須高原で育つ野菜は、昼と夜の寒暖差が大きいので、甘くてみずみずしく美味しさは格別で、食するたびに顔が緩んでしまいます。

私の趣味である「うどん打ち」も、那須の水を使うと出来上がりが全然違うのです。管理事務所の方達に、おすそ分けしたら「美味しい！」と言ってお楽しみいただき嬉しかったです。おすすめの食べ方は、うどんそのものの美味しさが味わえる「かけうどん」。シンプルだからこそ一段とうどんの味が引き立ちます。

食べ物の話ばかりになってしまいますが、那須に来た時に必ず立ち寄って買うパンが、南ヶ丘牧場の「ミルクパン」。厳選した小麦と、水を一切使わず牛乳を使ったきめ細かな生地で焼き上げたパンはとっても柔らかで絶品です。

別荘生活で驚いたことは、皆さんと同じくお猿さんとの遭遇…「早く写真、撮ってよ～」と言わんばかりのカメラ目線なのです。あまりにもおかしいので思わずパチリと撮った一枚を掲載しました(写真)。

母の30年前からの趣味であるパッチワークキルト。ベットカバー(写真)などの大物作品は1年がかりの大作です。兄の病院の待合室にも展示していて患者さんから目の保養になると、とても喜ばれています。別荘にも飾ってあるので気軽に見に来て下さい。

何の心配もなく別荘ライフをエンジョイできるのも管理事務所の皆様のおかげです。

まだまだお世話になりますので、今後ともよろしくお願い致します。



母・兄・私と母の友人



傑作のカメラ目線



母の力作「ベッドカバー」



母と伯母と私

## 那須で見られる山野草④8 キンポウゲ(金鳳花) キンポウゲ科

キンポウゲは、高原だけでなく日当たりのよい野原や土手にもよく咲いているのを見かけます。春に花が咲き種子を残します。一つ一つの花は小さいのですが、群生するととても綺麗で息を呑むほど。

青空の下、濃黄色のキンポウゲが咲く姿はコントラストがたまらなく美しく、まるで絵葉書を見ているかのようです。キンポウゲ科の植物はとて多く、皆さんおなじみのアネモネ、オキナグサ、オダマキ、シュウメイギク、クリスマスローズ、ニリンソウ…名前をあげたらキリがなくなります。

花言葉は、「荣誉」「栄光」「美しい人格」など、実に嬉しい言葉ばかりで益々愛着がわいてきます。

キンポウゲの咲き誇る野山で、昼寝でもしながら春風に身を任せ「命の洗濯」でもしたいものです。



## とっておきのお店 お教えします

### 小さなすし屋 なすべえ

栃木県那須町高久甲1058-89

TEL 0287-63-6369

定休日: 不定休

営業時間: 昼の部 11:30~13:30  
夜の部 前日までのご予約制でコース料理をご用意

今回の「とっておきのお店」は、アットホームなすし屋「小さなすし屋 なすべえ」です。皆さん、すし屋って緊張しませんか?(笑)入店するとオーナー夫妻の素敵な笑顔に迎えられる、あっという間に緊張がほぐれました。なすべえの魅力の1つは、ご夫妻の温かい人柄です。東京出身のお2人は那須に何度も遊びに来てるうちに、この地でお店を開きたいという思いが強くなったそうです。お店を構えて12年目。別荘の方や地元の方にも愛されるお店となりました。私はお昼にお邪魔してきました。

ランチメニューは、ちらしずし、にぎりずし、穴子丼など1000円台からいただけるんです。嬉しいことに、どれも茶碗蒸し、小鉢、お椀、デザートつき!せっかくなので贅沢ちらしをオーダー。この日の小鉢は、タラと里芋、生麩(あわ麩)の揚げ出しでした。生麩がモチモチしていて上品な味わいの小鉢。茶碗蒸しは、柚子の香りがきいてプルプル。お椀は鯛の潮汁。ちらしには、大トロ、中トロ、金目鯛、ウニ、いくらなど沢山のネタがズラリ!特に金目鯛の上品な脂が絶妙でした。目にも美味しい、ちらしずしですね。

夜の部は前日までの予約制で3200円、4300円、5400円の3タイプのコース料理が頂けるそうです。内容は刺身、焼き物、揚げ物、蒸し物、にぎりずしなどで仕入れによってネタは色々なの



でお楽しみですね。私がお邪魔した日も予約で満席だったのでお出かけの際は予約をお勧めします。アットホームな「なすべえさん」、リピーターが多いのも納得のお店でした。

